令和８年度
滋賀県文化賞等受賞者

滋 賀 県 文 化 賞

芸術文化（美　　術）　岡　田　　修　二

芸術文化（伝統工芸）　藤　野　　雲　平

滋賀県文化功労賞

郷土文化（民俗文化財）　岩　井　　小　紫

滋賀県文化奨励賞

芸術文化（映　　像）　谷　口　　未　央

滋賀県次世代文化賞

芸術文化（美　　術）　服　部　　由　空

芸術文化（美　　術）　安　枝　　知　美

文　化　賞



岡田修二（おかだしゅうじ）

芸術文化（美術）
昭和 34 年生　守山市在住

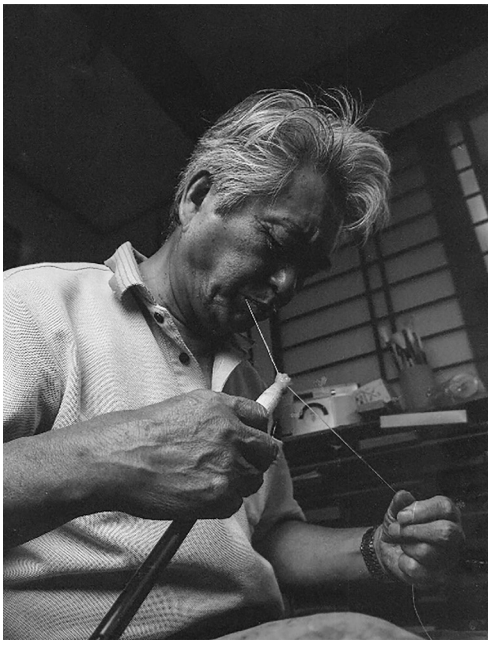
平成10年VOCA展'98「現代美術の展望～新しい平面の作家たち～」にて、VOCA奨励賞を受賞。滋賀県立近代美術館、大原美術館をはじめ、個展を多数開催し、国内外のグループ展にも参加している。

近年は、「水辺」、「立花」、「自然学」をテーマに、絵画で自然と人間が響きあう方法を探求。令和４年には、滋賀県立美術館でのグループ展「石と植物」に出品、令和７年には成安造形大学キャンパスが美術館にて個展「岡田修二　未知への迂回路」を開催。成安造形大学名誉教授、京都成安学園常務理事。

藤野雲平（ふじのうんぺい）

芸術文化（伝統工芸）
昭和 25 年生　高島市在住

1615年創業の老舗毛筆製造業・攀桂堂の第15代堂首として、巻筆を含む毛筆を製造。平成24年に、大東文化大学書道研究所主催の「千二百年の伝統　甦る「巻筆」と筆文化の伝承」にて講演。平成28年11月に、正倉院宝物の筆調査に調査員として携わり、調査研究・報告を行った。令和８年には、「正倉院宝物特別調査」の成果発表として特別講座を行うなど、講演活動や巻筆の製作を通して、日本の筆文化の重要な伝承者として活動している。



文 化 功 労 賞



岩井小紫（いわいこむらさき）

郷土文化（民俗文化財）
昭和11年生　京都市在住

「長浜曳山祭」の子ども歌舞伎の振付師として、平成13年から26年間にわたり子どもたちの育成と舞台芸術の向上に貢献。長浜曳山祭には、20回出場。平成28年には三役修業塾の講師に就任し、振付・義太夫・三味線の後継者育成に尽力。子ども歌舞伎と関わりの少ない子どもたちにも将来の担い手になってもらえるよう歌舞伎体験教室を開催するなど、長浜曳山祭の保存・継承と地域文化の振興に貢献している。

文 化 奨 励 賞



谷口未央（たにぐちみお）

芸術文化（映像）
昭和53年生　東京都在住

映画監督として、初長編『彦とベガ』では、伊参スタジオ映画祭シナリオ大賞を受賞した脚本を自ら映画化し、あいち国際女性映画祭フィルム・コンペティション長編フィルム部門グランプリに輝く。長浜開町450年記念として制作された短編『ひーくんのお祭り』では、市内小学生をキャスティングし、長浜市曳山博物館にて常設上映されている。

長浜曳山まつりの子ども歌舞伎を題材とした長編２作目となる『長浜』では、取材・脚本執筆・資金調達に８年の歳月をかけ完成させ、現在は全国順次公開中。滋賀県の歴史・文化・地域資源の魅力発信に貢献している。

また、映画館のない長浜市において「ナガハマ映画祭」を立ち上げ、映画上映やトークイベントを開催するなど、市民が映画文化に親しむ機会を創出し、再び映画館が誕生する未来に向けて有志と共に活動している。

次世代文化賞



服部由空（はっとり ゆうく）

芸術文化（美術）
平成３年生　栗東市在住

成安造形大学助教。滋賀県美術展覧会において、令和５年特選・滋賀県美術協会理事長賞、令和６年特選・公益財団法人木下美術館賞を受賞。全国の百貨店美術画廊やギャラリーで個展を開催し、グループ展やアートフェアにも多数参加。成安造形大学附属近江学研究所主催の写生会に、助手として携り、近江の魅力を探求、自身の絵画表現へと応用し、関連企画「淡海の夢　風景展」を中心に多数の展覧会にて作品を発表。

県内を中心に、自然と人間が共生する里山の陽光や風雨などの空気感を「近江雁皮紙」で表現した作品は高く評価されており、今後、更なる活躍が期待される。

安枝知美（やすえだ ともみ）

芸術文化（美術）
平成元年生　大津市在住

令和３年に滋賀県に移住後、グループ展に複数回参加、令和６年大阪のGAMOYON Gallery・７年大津市の2kw galleryにて、個展を開催し、人物の表情を描いた油絵の絵画作品を県内外にて積極的に発表している。

令和７年12月滋賀県立美術館「ニューSMoAコレクション」への展示、令和７年度の平和堂財団芸術奨励賞受賞、令和８年秋には、プロシードアリーナHIKONE多目的ホールと滋賀県立美術館ギャラリーでの展示など、県内での活動を積み重ねている。さらに、同時期に高島市の藤樹の里文化芸術会館で行われるグループ展へ参加し、滋賀県との繋がりを深めながら、作品を展開する将来有望な人物である。

